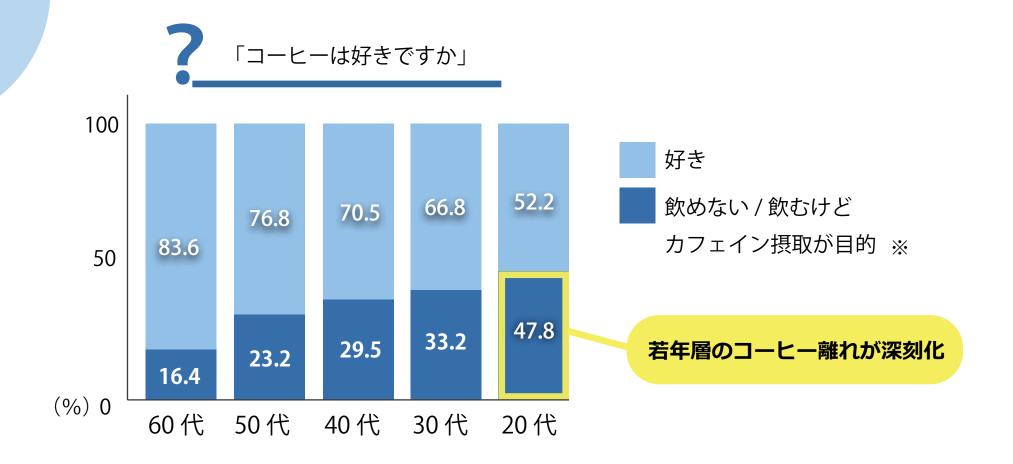


若年層リーチ強化の施策提案











若年層 "認知" に特化した施策 1

= 業界未参入のライブコマース市場を狙う



"来店促進"に特化した施策 2

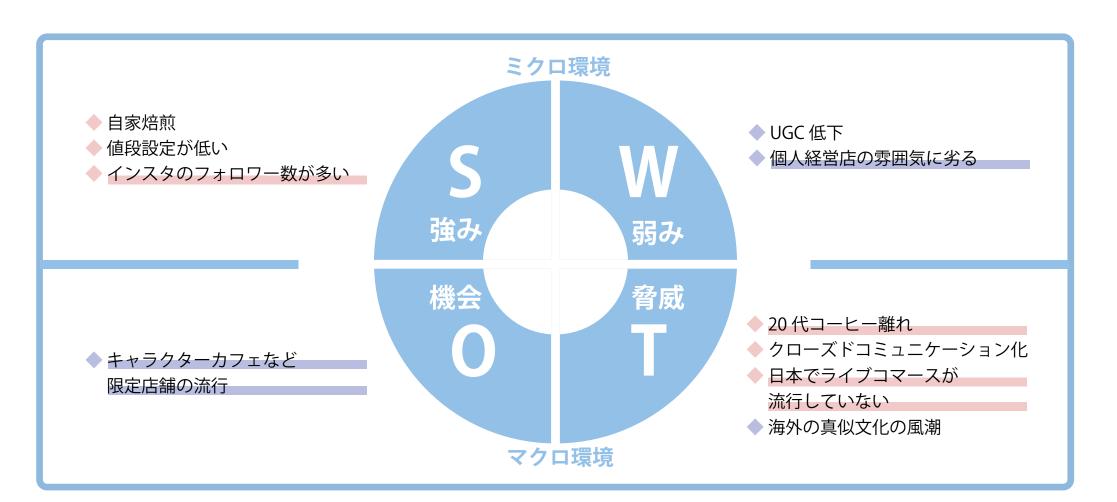
=独自の文化に着目し、競合に劣る部分をカバーする



施策 1 ショッパブルビデオの活用施策



施策 2 "ニホンの喫茶店" 施策





施策 1 ショッパブルビデオ(商品紹介動画)の活用

- ▼ ライブコマースと同じように縦型動画での商品紹介
- 配信者の「こだわり」や「豆知識」による有益コンテンツ化 若年層の"憧れ"にフォーカス
- ✓ 各 SNS へ投稿。EC サイトへ動画を掲載。
 (今後オウンドメディアとして掲載も可能)









、みんなでつくる/ ニホンの喫茶店

のき珈琲店

プロジェクト



楠木珈琲店監修

海外のカフェ文化から独立して発展した、 日本の喫茶店ならではのロマンを詰め込んだ店舗 『のき珈琲店』の制作プロジェクトです あなたの思うニホンの喫茶店を募集します

\会員登録不要/

応募する

各種 SNS で実況中! O LINE J



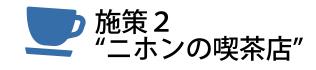












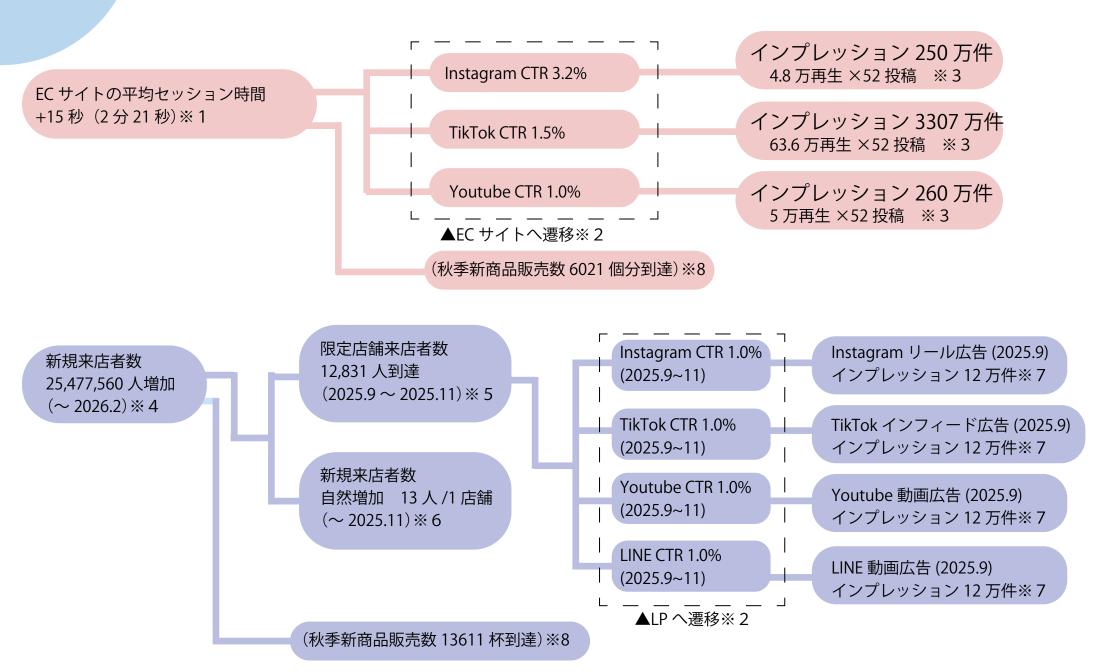
海外から入ってきたカフェ文化 ≠「日本の喫茶店」

日本の喫茶店ならではの特徴を募集 人気または秀逸なものを選出 設定店舗へ取り入れ、期間限定の特別店舗に

募集:特設LP

SNS で募集中・選出中の様子を実況 =「皆で作る文化」の演出

効果の目標設定(KPIツリー)





若年層"認知"に特化した施策1

= 日本で<mark>まだ流行していない</mark> ショッパブルビデオの活用が大きな一歩に



"来店促進"に特化した施策 2

=クールジャパンの着眼点から 競合に<mark>劣る部分をカバー</mark>



今後の展開

- ☑ 各種広告掲載·LP 用意
- ✓ オウンドメディア管理 G 新設
- ☑ 限定店舗運用 G 新設

- ※ インターネット調査、全国の 20 ~ 69 歳の男女、2022 年 1/28 ~ 31、有効回答は 1100 件。
 - 参考:クロス・マーケティング https://www.cross-m.co.jp/report/trend-eye/20220202coffee
- ※1 食品通販業界のサイト平均滞在時間・・・2分6秒より10%程度増加(良好なECサイト運用がされる競合他社の数値)
 - 参考:WEB 行動ログ調査ツール『Dockpit』による調査
 - まなべるみんなのデータマーケティング・マガジン https://manamina.valuesccg.com/articles/2600
- ※ 2 一般的な SNS 広告の成功率とする CTR1.0%を基準に、比較的高い数値の出る Tiktok 投稿 CTR は + 0.5%に設定。既に投稿 CTR3.2%を得ている Instagram は据え置いて設定。
- ※3 それぞれ1週間に4投稿、計52投稿分で算出。
 - 参考:スターバックス CPG、コメダ珈琲、上島珈琲、個人名で活動するバリスタ配信者数名
- ※4 平均客単価×平均来店数×店舗数×365≒2024年度の売上収益を321億円とする。
 - ベンチマーク企業(参考:株式会社コメダホールディングス)の 2022 年~ 2025 年の業績平均より、
 - 今年度(2026.2 決算時)の自然な増加後の売上収益をおよそ 367 億円と想定。
 - 店舗当たり売上=35,980,392 円 / 年 = 98,576 円 / 日 = 店舗当たり来店人数平均 137 人 / 日 (17 人増加)
 - 1日あたり1店舗につき1人増加(18人の増加)があるとして目標値を算出。
- ※5 ゴールデンタイム(12~16時の4時間)に1組多く来店する計算。通常店舗より1911人多い、計12831人の来店があると想定。
- ※6 2026.2 時点での店舗当たり来店人数平均 137 人 / 日(17 人増加)のため、2025.11 時点での自然な増加数は 17÷12×11≒13 人
- ※7 2024年度の広告経由来店数 3200人より、広告全体リーチ(0.5~1%)320,000~640,000万件。
 - 中央値 480,000 件。 =120,000 件 /3 ヶ月 (これまでの広告掲載を Instagram のみ、または他媒体も同等の効果があったと仮定)
- ※8 秋季新商品の目標販売数 65000 杯(通常商品比 170%)より、2024 年の秋季新商品販売数を 38235 杯と仮定。
 - 2024 年度の売上収益の 0.058%を占める。2025 年度の想定売上高より、自然増加分の新商品販売数 43441 杯とする。
 - 差分 21559 杯について、施策 1 が豆(650 円)、施策 2 がイートイン(490 円)での販売形式のため、
 - 施策1の販売数を X、施策2の販売数をYと置く。490Y+650X=21559×490 より Y=21559-1.32X
 - 各 SNS のインプレッション数、CTR より総クリック数は 602050 件。食品業界の EC サイト平均 CVR が 1.0%のため
 - (参考:QUERYY デジタルマーケティングを読み解く EC サイトの平均 CVR と 10 の改善施策 https://n-works.link/blog/ec-production/ecsite-cvr)
 - ≒6021 件の CV とし、X=6021、Y=13611。施策 1 での販売数目標を 6021 杯、施策 2 を 13611 杯と設定した。